

# 【カスタム用語の基礎知識】

様々な金属を駆使して製作されるカスタムパーツ。例えば  
オリジナルマフラー。エキゾーストシステムなんてシャレた言  
い方もございますが、材料の違いによって製作の難易度や  
特性は異なります。また高級パーツとしてのイメージの高い  
アルミの削り出しパーツ。鋳造や鍛造とは一体どこが違う  
んだい? というわけで今回は少しディープなカスタムパー  
ツ作りについてのお話です。

Hideaki へー = TEXT 有野篤 = ILLUSTRATION



# パーツ製作 の手法



## ■お題目、其の二

**蒲原** 「アルミの削り出しバーツなんて、もはやアートの領域とも言えるね」  
**永作** 「やっぱりあれって職人が彫刻刀で彫つてたのか？」  
**蒲原** 「札幌雪祭りの氷像か！ 彫刻刀でアルミが彫れるわけないだろ！ あれはマシニングセンターやNC旋盤つていう工作機械を使つてるんだよ！」  
**(※注2)**

蒲原「極端な話、鍛治屋の刀作りと同じ発想だよ。鍛治屋の金づちが金型に取つて代わつたって感じだね」

永作「豊臣秀吉もあいつの世で口惜しがつていることだろう、こんなに技術が進歩してしまつて。簡単に刀が作れちゃうんだもんなあ。狩つても狩つても追いつかんぞ、まるでイタチごっこだ」

蒲原「刀狩の豊臣秀吉はまったく関係ないだろ！」

永作「ススキのカタナ狩りってのもあつたねえ」

蒲原「懐かしいこと

蒲原「鋳造は一般に砂型などを使用する。その上に溶けた金属を流し込み、それを冷やしてカタチにする手法だ」

永作「何だかタイ焼き作つてみたいたなあ」

蒲原「熱して固化化する、冷やして固化化する、この2点を除けば確かに似ているね」

永作「鋳造ではどんなバーツが作られるんだ?」

蒲原「シリンドラーヘッドカバー やクラップチカバー等々。一般に質感と趣を重視したバーツに用いられることが多い」

永作「シリンドラーヘッドカバーにも使用されるつて聞いたことがあるぞ」

蒲原「昔はシリンドラーヘッドカバーも鋳造が主流だったけど、今では鍛造でも作られるようになつていてるそうだ」

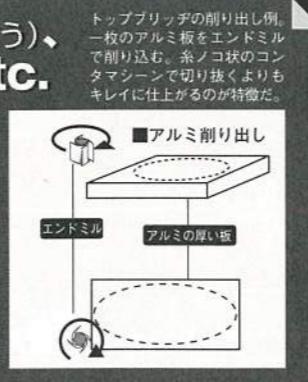
永作「なるほど。ではここで問題で蒲原「何だよ、唐突だなあ」

永作「鋳造||タイ焼き 削り出し||彫

※注2…アルミ削り出し、鍛造(たんぞう)、  
鑄造(ちゅうぞう)についてのetc.

**アルミ削り出レーパーツはマシニングセンター**やNC旋盤などコンピューター制御の工作機械を使い、アルミの塊を目的のカタチに仕上げたもの。ドリルやエンドミルという回転式切削用刃物で三次元に穴開け＆削り加工を施したものだ。素材が柔らかくて削りやすいアルミは直條の細いドリルやエンドミルも使用でき、細かく、しかも複雑な加工が可能なのだ。

元来、鍛造とは金属を熱して柔らかくし、金づち等で叩いて目的のカタチに仕上げる、いわゆる“火作り”と呼ばれるもの。これで鍛造は溶かした金属を型に注入。これで冷まして凝固させることによって目的のカタチに仕上げる“鋳込み”とよばれる手法を指す。鍛造は刀などの刃物、鍛造は銅器の製作など、日本でも古くから利用されていた伝統ある手法。タイ焼き作りやコ焼き作りなども鍛造を応用了したもの。近年では大量生産=鍛造、昔ながらの超残したもの=鍛造、性能と精度の高さ=り出しというのが一般的であろう。



蒲原「うーん、三角ねにぎり製造機つて感じ? 具が入る部分にうまく穴が開くアイデア商品」

永作「ブー」

蒲原「じやあ何だよ」

永作「正解は、私の中学時代の同級生だった殿山のヒイシイサンの名前です」

蒲原「知らねえよ、そんなもん!」

永作「ちやんちやん。どうも、しつれいしやした!」

蒲原「滑らかな曲線を描くオリジナ  
ルマフラーって恰好良いよね」  
永作「カスタム度も高まるよな」  
蒲原「あれってどうやって曲げるのか  
知ってる?」  
永作「ミスター・マリックのハンドバ  
ワーダろ」  
蒲原「んなわけねえよ!」  
永作「マリックが遅い夏休み中で、そ  
の代わりにマギー四郎でまかなかつて  
るマフラー屋さんもある」  
蒲原「マギー史郎はジャンルが違うだ  
ろ!」  
永作「中国じやゼンジー北京が漫談  
しながらマフラー曲げてるらしい」  
蒲原「ただ闇雲に有名手品師を並べ  
てるだけだろ! それにゼンジー北  
京は日本人だよ!」

永作「ところで市販マフラーの溶接跡  
って、熟練した職人の技って感じがし  
ない?」  
蒲原「確かにいい味出してるよね。溶  
接は金属の材質(※注1)によつて  
難易度が違うって知つてた?」  
永作「そりや初耳だ」

蒲原「スチールの場合は素材の特性  
上、比較的溶接がしやすいんだけど、  
ステンレスやチタンは専用のガスを使  
用したり溶接に専門知識や特殊  
技術を要するんだ」

永作「チタンは素材自体が高額だか  
ら、おいそれ失敗もできないだろうし  
あるんだ」

蒲原「風船じやねえんだよ！」  
永作「誤つて吸い込んで、バイブの中のヤバい液をゴツクリと飲み込まないようにするのもボイントだな」  
蒲原「何なんだ、ヤバい液っていうのは！」  
永作「気持ち悪いなあ」  
蒲原「ちよびりほろ苦い大人の味」  
ファーストキスの味とはチト異なる  
永作「いい加減なことを言うな！」  
蒲原「冗談だよ。チャンバーの多くは円柱や円すい状に巻かれたスチールやステンレスを繋ぎ合させて作られてるんだよ」  
蒲原「そう、知ってるんじやないか」  
永作「そして繫ぎ作業はユリゲラによる驚愕のハンドパワー！」  
蒲原「溶接だよ！」

※注1…『マフラーの素材と  
市販マフラーのエキパイには主にスチール、ス  
テンレス、チタンが使用されている。スチー  
ルは曲げ、切断、溶接も容易、つまり加工のしやす  
さが一番の特徴だ。また材料費も安く、低コスト。  
ただし錆びやすいのが一番のネックだろう。

ステンレスはスチールに比べて材質自体が硬くて  
曲げ＆切断加工がしにくく、溶接も難しい。スチー  
ルよりもコスト高だが錆びにくく、スチールよりも  
若干軽量だ。

チタンはスチールやステンレスよりも超軽量で錆  
びにくく、しかも性能が出しやすい最高級の素材。  
ただし曲げ、溶接等の加工は極めて困難。素材自体  
の価格も競り合って高い。従って市販品の価格も高  
額なものが  
ちなみに  
稀で（モン  
サイレンサ

# 輪用語知的研究会



始まり始まり～

★下らんことをしゃべつて  
いるのはコイツラです  
マンボー永作（まんぼー・えいさ  
く）貧乏芸人。愛車は云人仲間か  
らタダで譲り受けた12年落ちのゼ  
ファー400。バイクの知識はあま  
りない。

永作「若くて威勢のいい屈強なアンチ  
やんが素手で曲げてるかも知れんぞ、  
チユーブのボーカルみにコメカミ  
青筋立て! 工場内では打撃空手  
手道場ぱりに『うぎやー』『おりやー』  
ダアー』『エースト!』なんて氣合いの

蒲原「そうだ  
ね」  
永作「そうい  
えば2ストに  
付けるチャン  
バーって奇妙  
なカタチをし  
ているよな  
あ」

蒲原「チャン  
バー本体の真  
中の部分がボ  
ッコリと膨張  
している。あ  
れは2ストマ  
シンの性能を

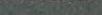


\*注1…「マフラーの素材と特性について」

**市** 販マフラーのエキパイには主にスチール、ステンレス、チタンが使用されている。スチールは曲げ、切断、溶接も容易。つまむ加工の方法で、(エ)

エキパイにアルミを採用するメーカーは  
キー用マフラーなどは数種類リリース)、

- 一般的なチャンバー



- 一般的な4スト用 手曲げマフラー



